



2023年2月8日

一般社団法人 電気自動車普及協会(APEV)

関係各位

## ご報告:APEVは「未来のクルマ Technology 展」に出展

皆様には日頃から弊会の活動にご協力下さり、心より感謝申し上げます。

電気自動車普及協会(APEV)は2020年から『未来のクルマ Technology ONLINE』にオンライン出展して参りました。この度、初めてフィジカル展が東京ビッグサイトで開催されるに当たり、APEVブースでの展示とAPEVシンポジウムでパネルディスカッションを行いましたので、ご報告いたします。

当日ご来場下さった皆様に心よりお礼申し上げます。

### 1. 概要

- ・名称:未来のクルマ Technology 展(リアルとオンラインのハイブリッド)
- ・会期:2023年2月1日(水)~3日(金)10時-17時:リアル  
2023年3月1日(水)~3日(金):オンライン
- ・場所:リアル:東京ビッグサイト 東5ホール 表面技術展示会内のエリア / オンライン:アペルザ TV
- ・主催者:(株)JTBコミュニケーションデザイン、(株)アペルザ
- ・内容:部品設計/製造加工、センサー・カメラ/画像処理やそれらを活用したAIやIoTソリューションなど、10社の展示とセミナー
- ・来場者数:3日間総合計:31,137名(同時開催展含む)

### 2. APEV 展示ブース

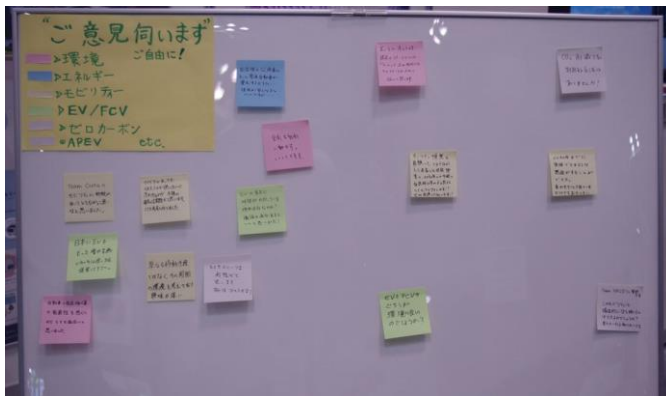
- 場所:東5ホール 表面技術展示会内 小間番号:5G-25
- 日時:2023年2月1日(水)~3日(金)10時-17時
- 参加方法:無料、完全WEB来場登録制、同時開催される14の展示会共通
- 展示内容:  
◎入賞8作品のポスターをB1サイズで掲示し、40型モニターで入賞作品動画やAPEVの紹介を流しました。



<ブース全景>  
左3人はAPEV関係者、  
右3人は千葉工業大学  
costaチームの皆さん

◎「ご意見伺います」: 来場者に切り口別にポストイットで書いて頂き、パネルに貼り付けて共有しました。

・切り口: 環境／エネルギー／モビリティ／EV・FCV／ゼロカーボン／APEV



<「ご意見伺います」パネル>  
初日なのでまだ少ない。

◎説明員: APEV 関係者以外に、デザインコンテストで入賞した千葉工業大学の学生さんにも参加して頂きました。学生さんから「作品を説明する中で作品の内容が更に深まった。来場者から質問や指摘を貰い勉強になった」、来場者から「学生の斬新なアイデアとそのコンセプトを知ることが出来て刺激的だった。次回コンテストの協賛を検討したい」等の感想をいただきました。



<2月1日 千葉工業大学 costa チーム>



<2月2&3日 千葉工業大学 FLAT チーム>

・来場者



<群馬大学連携大学院 客員教授 松村様: 左から2人目>



<マレリ(株)渡邊様>

### 3. APEV シンポジウム

■日時:2月2日(木)14時~15時

■場所:東5ホール 小間番号 5G-25 内ステージ

■参加方法:入場には事前登録が必要、聴講は予約不要

■タイトル:APEV シンポジウム「国際学生“社会的EV”デザインコンテスト 2022」と人材育成

■内容:

- ・前半 20 分:APEV & コンテスト概要説明+受賞作品紹介(実行委員長・APEV 理事 山下 敏男)
- ・後半 40 分:パネルディスカッション「近未来の快適で豊かな生活を考える上での“社会デザイン”の本来のゴールは何処に？」

・モデレーター=山下 敏男

・パネラー=HAL 東京 教務部教官 白岩 直人氏、審査委員特別賞受賞 千葉工業大学創造工学部デザイン科学科 佐藤研究室 FLAT チーム(伊藤 尚子さん、高橋 郁成さん、鈴木 勇輝さん)

#### ■議論

1 そもそも“社会デザイン”って何？

- 1.1 デジタル田園都市
- 1.2 高齢化社会
- 1.3 CASE(モビリティの未来)
- 1.4 Maas(モビリティのサービス)
- 1.5 建築家がカーデザイン？



<山下理事>



<白岩先生>

2 “社会デザイン”をどう実践すべきか？

- 2.1 提出課題:2040年の可能性(実現性)は？
- 2.2 テクノロジーに何を期待するか？

3. 本コンテストが果たした役割は？

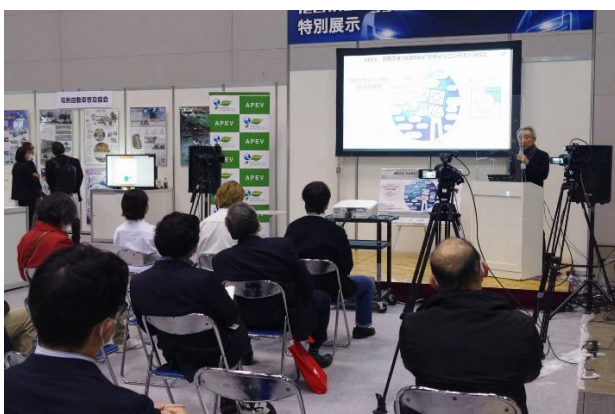
- 3.1 協賛企業(社会)との繋がりは？
- 3.2 ワークショップは有意義だったか？
- 3.3 モビリティの未来は明るいのか？
- 3.4 EV(ICEでは無く)に期待される“貢献”とは何か？



<FLAT チームプレゼン>

モデレーターより上記の問いかけがあり、パネラーと活発な意見交換がされました。その様子は YouTube でご覧いただけます。ご覧になったら、チャンネル登録と「イネ！」をお願いします。

■動画 前半 20 分: [https://youtu.be/WtSsyqbtI\\_A](https://youtu.be/WtSsyqbtI_A) 後半 40 分: [https://youtu.be/\\_A66kSnhfNQ](https://youtu.be/_A66kSnhfNQ)



<会場風景>



<左から:山下理事、高橋くん、鈴木くん、伊藤くん、白岩先生>

コンテスト概要+++++

- ◆ **名称:** 国際学生“社会的 EV”デザインコンテスト 2022
- ◆ **目的:** 社会デザインとEVの可能性の研究を通して、次世代を担う融合型人材の育成  
今回のコンテストではテーマを「“社会デザインとEV”2040の提案」と題し期限を明示したテーマを設定した。我々は、EVの役割を単なる移動体の観点からではなく、人々の生活に必要な不可欠なモビリティとしての在り方、そして人々の豊かな暮らしとは何かを考えるコンテストにすべきだと結論付けた。
- ◆ **体制**
  - ◇ 主催: 一般社団法人 電気自動車普及協会 (APEV)
  - ◇ 後援(50音順): 環境省、経済産業省、国土交通省、公益社団法人 自動車技術会、  
東京大学大学院情報学環、東京都、一般社団法人 日本自動車工業会
- ◆ **協賛(50音順)**
  - ◇ カーデザインアカデミー(ブランド名)、(株)ベネッセホールディングス、CCCMKホールディングス(株)
  - ◇ デル・テクノロジーズ(株)、日野自動車(株)、日本アイ・ビー・エム(株)、MONET Technologies(株)
  - ◇ (株)ワコム
- ◆ **賞金・賞品**
  - ◇ 最優秀賞: 20万円+賞状、環境大臣賞・経済産業大臣賞・国土交通大臣賞: 各10万円+賞状
  - ◇ 審査委員特別賞: 10万円+賞状、協賛団体賞: 協賛団体から提供される物品等+賞状
- ◆ **受賞チーム**
  - 賞名: 学校名 / チーム名
  - 最優秀賞 グランプリ: 東京都立大学 大学院/Sakai Mobility Systems
  - 経済産業大臣賞: 千葉大学&九州産業大学/TARAKO&PEANUTS
  - 国土交通大臣賞: 東京都立大学 大学院/TMU-torapo-B
  - 環境大臣賞: HAL Tokyo/HALO!
  - 審査委員特別賞: 千葉工業大学 大学院/FLAT
  - 審査委員特別賞: (India) National Institute of Design, Transportation and Automobile /Shunya
  - MONET Technologies 賞: 千葉工業大学 大学院/Costa
  - 日本 IBM 賞: 東京都立大学/MINK

+++++

※一般社団法人 電気自動車普及協会では、引き続き会員を募集しております。

- トップページ <https://www.apev.jp/>
- 入会ご案内ページ <https://www.apev.jp/entry/>
- 正会員(企業向け): 年会費 1口10万円  
賛助会員(個人向け): 年会費 1口1万円  
特別会員(行政機関・官公庁・マスコミ関係)

お問い合わせ: 一般社団法人 電気自動車普及協会 (APEV)  
〒153-0033 東京都文京区本郷 7-3-1 東京大学 情報学環・福武ホール  
TEL: 050-3375-4937 FAX: 050-3153-2686 E-mail: [info@apev.jp](mailto:info@apev.jp)  
Website: <https://www.apev.jp/>